

特別展

# 石井柏亭 絵の旅



チョチヤラ 1911年 東京芸術大学大学美術館蔵

2000年4月4日(火) ————— 5月21日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで) 休館日 4月10日(月) 17日(月) 24日(月) / 5月1日(月) 8日(月) 15日(月)

入館料 一般300円(240円) 小中学生100円(80円) ※( )内は10名以上の団体料金 / 65歳以上の方及び障害者の方は無料 / 第2、第3土曜日は小中学生無料

講演会 4月15日(土) 午後2時より「水彩画家 石井柏亭」福田徳樹氏(平塚市美術館長)

渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

東京都渋谷区松濤 2-14-14 TEL.03-3465-9421

JR渋谷駅下車 徒歩15分 / 京王井の頭線神泉駅下車 徒歩5分





病児 1904年 千葉県立美術館蔵



巴里の宿にて 1911年 東京国立博物館蔵



麻雀 1926年 茨城県近代美術館蔵

### 特別展 石井柏亭 絵の旅

石井柏亭(1882-1958)は、紀行をつづけた画家です。国内の各地を巡っては気に入った場所でもくり返し制作しました。

明治以来の画家たちは、解放されたように絵の具をもって各地を歩き山河を描きましたが、柏亭はそうした画家たちの最後ともいえる存在であり、日本という土地をその眼で発見していったのです。さらには海外へもむかい、初期の代表作を生み出した欧州旅行をはじめ、戦前の朝鮮、満州、あるいは戦後の米国への旅など、自然の風景や風土を求めつづけました。

柏亭は旅した土地について文章も残しており、単に描くというよりも紀行そのものを記述していったと言ってもよいかもしれません。彼ほど絵と文章一体で風景を描き留めた作家はいないでしょう。

明治に流行し多くの画家に愛された水彩には、もっとも柏亭らしさが活かされています。明治の風景画には自然にたいしての陶酔感がみられるのに対して、柏亭は平凡な自然、散文的な自然をとらえようとしています。水と山が織りなす広がりには彼に欠かさない題材であり、透明な輝きと、平穏な美しさがあります。

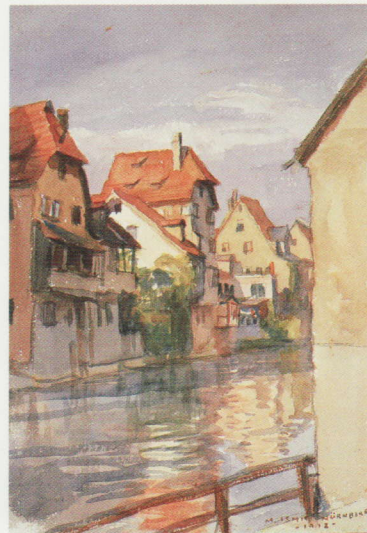
また、石井柏亭は家族や旅先で見いだした人々を描いています。それは人物とその雰囲気とをひとまとめに包み込むような作品です。人々の佇まいや家族の憩いのひとときのその日常性のなかに、「自然」を見いだしました。柏亭は、風景と日常性にある「自然」を発見することによって、日本の特性(ローカル・カラー)を表現しようとしたのです。

柏亭はヨーロッパの芸術動向をいち早く我が国に紹介するほど進歩的であったにもかかわらず、大正時代の主観的作風と西欧の新しい造形理念が広がるなかで、そうしたものを奥に秘めながら、あくまでありのままの自然の姿を写そうとしたのです。浅井忠に師事し明治という時代を引き継ぎながらも、他方で大正・昭和という時代を咀嚼する、断絶ではなく橋渡しをした、彼は希有な才能を持っていました。

「非凡な凡人であり、平凡な非凡人である」と小説家宇野浩二に評され「あれで反骨の片鱗をのぞかせる」と美術評論家森口多里に言わしめた画家石井柏亭は、時代に流されなかった孤高の姿勢と平穏な美しさを終生求めたのです。



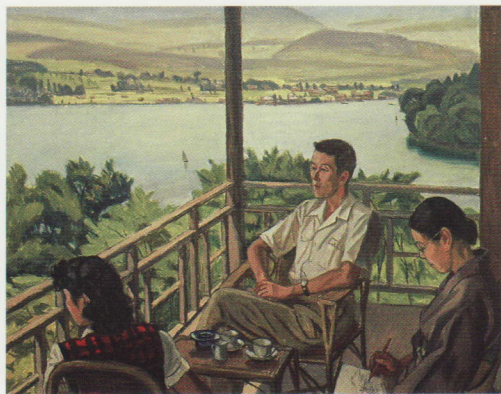
暮雲 1948年



ニュルンベルクにて 1912年  
長野県信濃美術館蔵



水車場-須賀川 1927年 福島県立美術館蔵



湖畔の宿 1952年 諏訪市美術館蔵

#### 講演会

4月15日(土) 午後2時から  
「水彩画家 石井柏亭」  
福田徳樹氏(平塚市美術館長)

#### 美術相談

4月22日(土) 午後2時-4時  
講師=宮田翁輔(油彩) 戸田康一(日本画)  
5月13日(土) 午後2時-4時  
講師=遠藤原三(油彩) 大和屋巖(水彩)

#### 美術映画会

4月23日(日) 午後2時-3時  
「セザンヌ〜12通の手紙〜」  
「モネ〜印象派の巨匠〜」  
5月14日(日) 午後2時-3時  
「マネ〜落選した名画〜」  
「ゴッホ〜アルルのひまわり〜」

#### 渋谷区立松濤美術館

東京都渋谷区松濤2-14-14  
TEL 03-3465-9421  
JR渋谷駅下車 徒歩15分  
京王井の頭線神泉駅下車  
徒歩5分

